

# NAGANO-KEN CLUB

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

jia-naga@jeans.ocn.ne.jp

JIA長野県クラブ



社団法人日本建築家協会  
The Japan Institute of Architects

Vol.67

2005

09.01

## 「居場所」

夜明けの風は、しめりけを帯びていた。いつものように散歩をしている。きのうの雨で、水気を含んだ空気は緑を新鮮にしていた。今日も又、昨日と同じような時間が流れるのだろうか。

自分が信じる事(信じようとしている事)を、一生懸命やつてきた。しかし、自信は持てなかった。存在(位置)が確認できずに、長い間息を殺してきた。

きっかけはJIA(長野県クラブ)というコミュニティに首を突っ込んだ時から、少しずつ変化が生まれた。最初は皆が大きく見えて困った。何も考えずにとにかく足を運ぶ。耳にした事のないような話が刺激になり、広い視野に共感していった。

何故、自分達がここにいるのか。今、真剣に話しているのは何の為なのか、いつまでたっても、存在感(認知度)が低いのは何故か・・・。自分だけの事でなく、仕事を通して考えるようになってきた。一人でいい仕事をしようとして、地道にやっていても(今もやっている)、それはそれで基本だが、社会に浸透していく感覚はなかなか実感できない。

「今は見えるものを見ない社会・・・」(高村薫)のように、情報のみを消費していって、それでいて無表情で、自分の足元以外は、誰も関心を持たないし、無関心はあらゆる層を侵食して

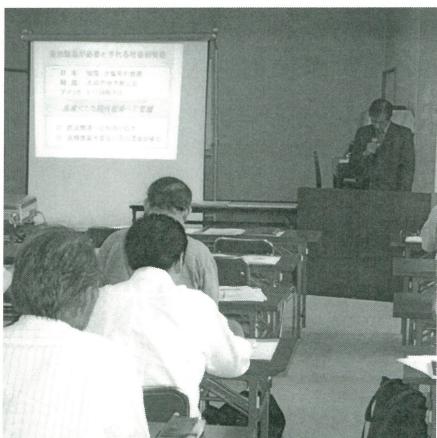
いる。社会に居場所のない多くの若い  
人達がいる事でもわかるように、向  
き合う対象が見えなくなっているし、見  
せようとしている。

ではどうすればいいのだろう。コミュ  
ニティー(いろいろな意味で)に肩を  
寄せ合う事で、居場所をつくる以外に、社会的に認知される手  
段は少ない。自分の居場所があると、周りも見えてくるし、共  
感する力も養われる。なによりも、生きていく範囲も広がって  
行く。孤独は、人間を時には異常にワガママにするし、どんどん頑なになっていて、長い時間を耐えるのはクタビレル。この頃は確信しているが、人間は多くのいい人と接していると、  
生きがいやエネルギーを感じ取る事ができる。簡単な事だった。  
自分の小さな鎧を取れば、皆が自然に擦り寄ってくる。そんな  
単純な事を会得したのも、JIAに入ってからだった。

これからも未来を託す若い人達が、社会に居場所がしっかり  
あるように、このコミュニティーを、確立していくべきだと思  
う。それも楽しく・・・。

あなたに会いたくてJIAに入った。

そんなあなたになりたいし、あなたもなれます。



技術交流会



会員作品発表会

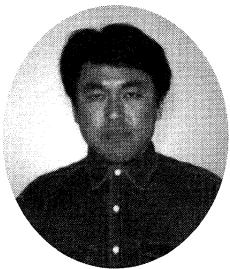


本音で語ろう会

# 委員会活動報告

2005年8月6日、松本「薬師平西宿」にて「技術交流会」「本音で語ろう会」「会員作品発表会」「納涼会」が行われました。

## 技術交流会に参加して

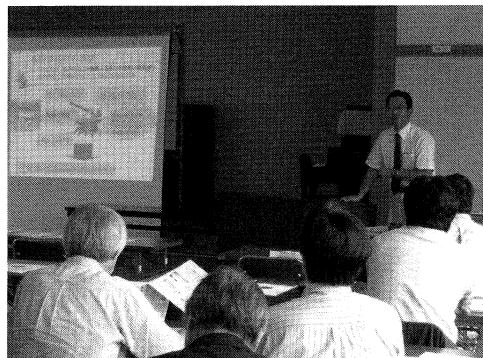


8月6日に松本市の崖の湯薬師平西宿で行われた技術交流会に参加しました。まず、中部電力長野支店法人営業グループ平林さんよりオール電化厨房施設について紹介がありました。食品衛生管理システムであるHACCPへの対応が最近の厨房施設に求められているが、大量の排気ガスが出るガス調理機器に対し電化厨房機器は排気ガスが少なく(必要換気量の減少)、室温も上昇しない作業環境が実現出来る他、細菌の繁殖を抑えるドライ方式の厨房方式に適し、IH方式等の機器開発により消費電力も少なく、実際の施設への採用事例も増えていると言う。

続いて、(株)ランバーテック丸山さんより木材処理技術について説明がありました。木造住宅のシロアリ被害の専門家でもある丸山さんは実際の食害の多さを指摘。また、乾燥過程に生ずる木材の狂い・割れ等に対しても品格法の立場からも

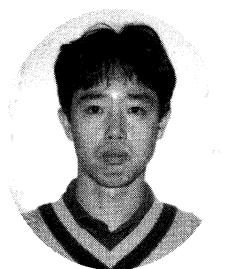
問題点を指摘。そこで、木材に加圧式注入処理材を施し、超長期耐久性を保証するハウスガードシステム(20年保証)を確立し、大切な資産でもある住宅を安心の体制でメンテナンスするシステムを紹介した。

短時間の説明の為もっと聞きたい部分は懇親会時に譲ったが、身近な問題に対して技術力で解決しユーザーの利益をきちんと保護するビジネスモデルを創出する両者の姿勢は、私たち設計者も見習いたい部分であると感心した。



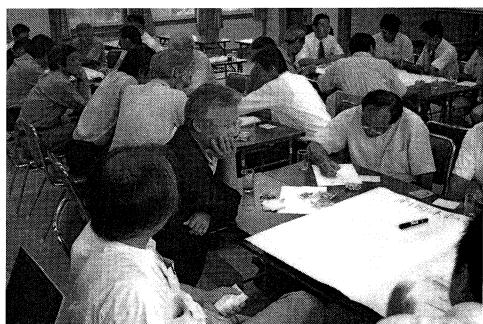
技術交流会

## 本音で語ろう会に参加して



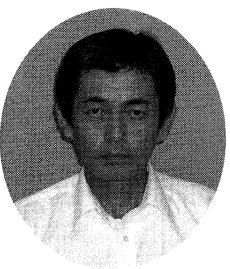
「あなたにとってJIAとは?・登録建築家制度の推進について」の2本立てで語りあったのですが、毎回の事ながら時間の短さを感じました。私が参加したグループの議論では、一般への宣伝不足による認知度の低さが問題として出されました。本部はもっとメディアを利用して一般に宣伝し、各人は草の根レベルで宣伝して認知を受けて行かないと、何時までも「JIAって何?建築家って建築士と何が違うの?」と言った所から脱出できないとの意見です。一般の方で、日本建築家協会と言う名前を知っている人はとても少な

いと思いますが、建築家と言う名称は少しずつ認知されているのではないかと思います。建築家の称号の重さはそれぞれだと思いますが、各人が自覚をもって内外にアピールしていく事がJIAを大きくする上で大切だと感じました。ただし、だれでも建築家では意味が無いので、その点は厳格な制度で有ってほしいと思います。



本音で語ろう会

## 本音で語ろう会に参加して



去る8月6日、松本薬師平・西宿にて開催されました「本音で語ろう会」。今回のテーマは「あなたにとってJIAとは?...その魅力とは?...」と、自分にとっては、かなりの難問でした。まして我がチームの錚々たるメンバー(名前はあえてひかえさせて頂きますが...)を前に緊張が絶えませんでした。そんな中、我々のグループではまず、「登録建築家制度の推進について」というテーマから始まりました。登録建築家制度自体をよく理解していない自分は、「JIAのメンバーである事と登録建築家であるという事とではどう違うんですか?」

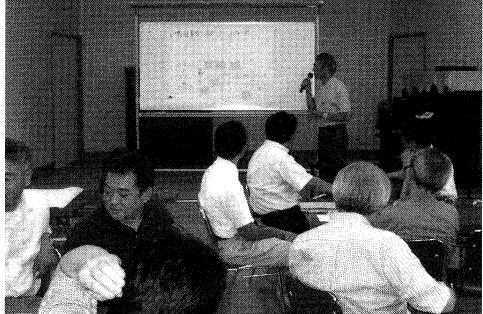
やっちゃんいました。超ビギナーな質問です。しかしそんな幼稚な質問にも親切に答えて頂ける...流石「本音で語ろう会」です。例えば、CPDで知識を高め単位を取得する事や、日々の勉強、

## 新和建材 水谷 健治

そしてクリエイントに対する建築家としての責任や姿勢など。ほんとうはもっと奥の深い事なのでしょうがまだまだ理解が足りないようです。

そしてそんな自分としてはどうしてもまだ、ここに集まるJIAの皆さん全員が、それに値するりっぱな建築家に思えてなりません。でも制度は制度です。どうか皆さん全員が「登録建築家」になられますよう、心より願っております。

その他、色々な意見が出て白熱した場面もあったのですが、例によって最終的には纏まらず、そんな何時もの結末でしたが、熱く有意義なひと時でした。



本音で語ろう会

## 会員作品発表会に参加して



8月6日蝉の音よりも雷鳴轟く崖の湯温泉で行われた「会員作品発表会」でしたが、発表された方々の作品に対する熱意に周囲の音や時間の流れを忘れた一時でした。

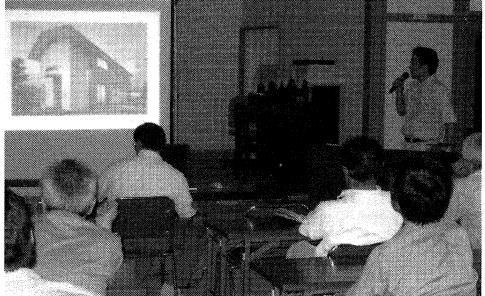
プロジェクターにより、映し出された作品の写真や図面には、それの方の個性が溢れおり、また説明を淡々とする方、熱く語る方……。

設計の裏側?の話、デザインされて行く過程、クライアントとの対話、環境保護等々、普段その当事者であるにもかかわらず、野次馬的で観させていただきました。ある意味クライア

A&D住空間スタジオ 野口大介

ント側に立って観ているような感覚が残りました。とても貴重な体験をさせて頂きました。今後の設計活動の糧にしてゆきたいと思います。

私自身今回の企画の様に、会員の方の作品を本人の解説付で見せて頂ける機会はあまりないので、今回だけではなく、次回次々と続けて頂けたらと思います。



会員作品発表会

## 納涼会に参加して



8月6日(土) 松本薬師平「茜宿」で午後1:00より五時間の拘束でCPD4単位を取得できる技術交流会・本音で語る会・会員作品発表会が開かれ多数の会員が参加されました。

プログラムでは入浴が一時間ほど用意されていましたが省略され納涼会に突入、高橋会長の挨拶、新入会員と賛助会新入会員新担当者の紹介の後、松下前会長の乾杯でやっとビールを口にすることが出来ました。納涼会がお開きとなり温泉に行くと、露天風呂はJIAのメンバーで超満員、豪雨の中宗派の話題で盛り上がっていました。仕切り直して2次会が始まりまた何人かと温泉卓

藤松建築設計室 藤松幹雄

球(児野さんと川上さんは強い)もしました。その後数名でロビーにて雑談をしていましたが、別室では3次会・本音の本音を語る会が開かれていました。普段は話す事のできない先輩方から沢山の話を聞くことが出来、私にとって背負っている荷物を降ろせた様な、CPDと共に大きな荷物を頂いた様な納涼会となりました。

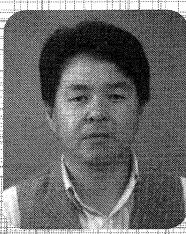


納涼会



秀建築選」の経過報告をします。  
7月24日に応募を締めきり、総数468作品となりました。作品リストが手元にないので長野県クラブからの応募数は把握していませんが、応募された方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。当初目標としていた300作品を優に超える応募があったことに大喜びです。としては安堵している所です。

審査委員の都合もあり、審査は8月中旬に任意で行われ、22~24日の3日間はJIA館の1階に作品を展示し、翌25日の全体会議で200作品及びアルカシア建築賞推薦作品の選定が完了する予定です。この会報が皆さんのお手元に配布される頃には入賞者には通知されていることと思われますが、詳細は「JIA建築家architect」10月号に掲載されるのでご覧下さい。当会から入賞者が出るよう期待しています。



「JIA長野県クラブ」で  
作品募集の参加  
をお願いした「日  
本建築家協会 優

「日本建築家協会優秀建築選」について  
山口 康憲



以前友人に「日  
本建築家協会と聞  
いて、どんなイメー  
ジを持つ?」と、  
聞いた事がある。

JIA長野県クラブに参加して…  
賛助会員(株)ノースフィールド  
高谷 義信

Patico  
パーティオ  
[中庭]

以前友人に「日  
本建築家協会と聞  
いて、どんなイメー  
ジを持つ?」と、  
聞いた事がある。

JIA長野県クラブに参加して…  
賛助会員(株)ノースフィールド  
高谷 義信

## 新会員紹介



### 広瀬毅 建築設計室 広瀬 毅

事務所を開設して数年が経過し、いくつかの自分の関わった建築が立上りましたが、一方で安堵感、充実感を感じつつも、他方で不満や、不安を常に感じています。

ものをつくっていくということにはそういう二面性はつきものと思います。JIAに参加することは、そのネガティブな部分を拭い去るためではもちろんなく、それをその後の活動のポジティブな力に反転させる場と考えています。先輩諸氏の手厳しい批評と、熱意ある議論を期待しています。

## 新賛助会員紹介



### 中部電力株式会社 長野支店

牧内 章仁

今年度から入会させていただきます。よろしくお願ひいたします。

弊社は、エネルギー供給事業者として、お客様に、品質が高く、低廉な電気をお届けするよう日々努力しておりますが、これに加え、今必要なことは、電気を使用されるお客様の側に立ち、エネルギーをより効率良くお使いいただき、かつ、電気の力で省エネ・省コストを実現いただくことと考えております。このため、新技術・高効率機器の情報をご提供し、リニューアル方法の検討に積極的に関わらせていただくなど、エネルギーの有効利用全般についてご紹介していく予定であります。

このたび、本会に参加させていただくことで、会員の皆さまから種々の深い知見を頂戴し、お客様の省エネ・省コストの実現に向けさらに努力する所存でございますので、ご指導賜りますようよろしくお願ひいたします。

## 建築家大会のお知らせ

### [建築家大会2005 東海]

- 主催 社団法人 日本建築家協会(JIA)・東海支部
- 期間 2005年9月8日(木)~11日(日)
- 会場 ばるるプラザ岐阜／岐阜グランドホテル／ハートフルスクエア-G



大会テーマ

## 素の力

### —川が育んだ暮らしと文化—

静岡、愛知、岐阜、三重が東海の地。

自然と環境がテーマの「愛・地球博」、靈峰富士、瑞穂の国の守り神 伊勢神宮。

ものづくり産業の力と豊かな自然環境、そして古からの貴重な文化遺産。

誇るべき日本の姿に出会う地、東海。美しい山並みと森そして清流。

川が育んだ暮らしと文化に出会う地、岐阜。

JIA「建築家大会2005 東海」が岐阜で開催されます。

## JIA長野県クラブの出版物ご案内

### 信州の建築家とつくる家

(社)日本建築家協会 JIA長野県クラブ・編

3

### 37人の仕事

愛と情熱の家づくり

Vol.3

家づくりのパートナー  
37人の仕事

展示場で見つかりましたか？

あなたがつくりたい家は  
自分に家族にピッタリの、  
頼れる建築家が見つかります！



A4版192ページ

定価1,500円(税込)

ISBN4-900918-75-X

#### バックナンバー

Vol.1 & 2も発売中!!

#### ■発売/オフィスエム

<http://www.avis.ne.jp/~emu/>  
〒380-0802 長野市上松2-2-17城東ビル3F  
TEL.026-237-8100 FAX.026-237-8103

県下書店で  
大好評発売中!!

編集後記

信州の建築家とつくる家。近くの書店では、目立つ場所にまだ置いてある。施主さん達からは多くの意見や感想をいただいた。「本だけでなく、もっと情報を発信する姿勢が建築家には必要。」「座談会のあの意見については疑問。」などなど。本をきっかけにしてそんな話もできて、いろいろ考えさせられた。

広報委員会 林 隆

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人／林 隆 発行所／JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 TEL:026-232-3897 FAX:026-232-5303

発行人／高橋重徳

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

E-mail [jia-naga@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jia-naga@jeans.ocn.ne.jp)